

上部消化管経鼻内視鏡検査の説明

上部消化管経鼻内視鏡検査とは、鼻（もしくは口）から内視鏡（胃カメラ）を挿入し、直接食道、胃、十二指腸を観察し、病気の診断を行う検査です。

<検査について>

当施設では基本的に胃の内視鏡検査は鼻（経鼻）から行っております。

鼻から内視鏡を行ったほうが、口からの内視鏡と比べて嘔吐反射（吐き気）を起こしにくく、楽だといわれており、検査中の医師との会話も可能です。

しかし、まれに鼻腔が狭くて入らなかったり、鼻出血を起こすこともあり、鼻から検査が難しい場合は、口からの内視鏡に変更する事があります。

なお、最初から経口でのご希望がある方は、当日受付または看護師にお伝え下さい。

また、当施設で使用している内視鏡は非常に細いので、精密検査や治療には適しておりません。検査結果によっては他施設での内視鏡検査を再度お勧めする場合があります。

<検査の前処置：内容と局所麻酔（部分麻酔）について>

鼻からの場合：両側の鼻に鼻の中を広げるためのスプレーをし、通りの良いと感じる側に局所麻酔薬のゼリーを注入します。（同時に喉も麻酔がかかります）その後、麻酔薬を塗ったチューブを挿入して前処置が終了します。

口からの場合：局所麻酔薬のゼリーを喉の奥に数分ためて吐き出していただきます。

※スプレーで「のど」に軽く麻酔を追加することがあります。

<検査中において>

医師が、精密検査が必要と判断した場合には、粘膜に青色の色素をかけたり、組織を一部採取する事があります。組織検査については裏面をご参照下さい。

胃内にアニサキスなどの寄生虫を確認した場合は、処置用鉗子で摘んで取り除く方法をとらせて頂きます。その場合、別途処置料金が発生致します（3割負担で9600円となります。）また、取った寄生虫を病理検査として提出しますと、さらに自己負担金がかかりますので、画像などで寄生虫を確認した後は処分させて頂いております。

なお、虫体が2匹以上存在した場合は、再度スコープを胃に挿入する事があり、時間と体への負担がかかりますので他院での処置をお願いする事になりますのでご了承下さい。

<検査の危険性・偶発症について>

局所麻酔薬のアレルギーで呼吸困難、血圧低下、意識障害などのショック症状がごくまれに生じることがあります（0.01%未満）。

また鼻からの場合には鼻出血（2～4%）、鼻痛および鼻閉感・鼻汁（10%前後）等の症状や、前頭部の頭痛を生じることがありますが、そのほとんどは自然に軽快します。

さらに内視鏡での穿孔（消化管に穴が開くこと）、嘔吐反射による胃食道接合部の裂傷、組織を採取した後の出血も危険性として考えられます（出血、穿孔：0.012%）。

万が一、偶発症が起こった場合には、当施設で適切な対処を行い、必要であれば救急病院へのご紹介をさせていただきます。

<病理組織検査について>

内視鏡検査では、ポリープや潰瘍などの病気、病変を発見した場合に、粘膜の組織を一部採取して顕微鏡検査に提出することができます。

これを「**病理組織検査**」といいます。特に悪性細胞の有無などを調べるために必要な検査です。

3割負担で計算した場合、胃のみ1臓器の病理組織検査では約4000円、胃と食道の2臓器での検査では約8000円ほどの料金となります。

なお、当院では**抗凝固薬と抗血小板薬を服用されている場合、1週間の休薬を頂いて病理組織検査を実施しておりますので、よろしくお願い致します。**

上部消化管内視鏡検査 問診票

該当箇所に○をつけ、ご記入下さい。

- キシロカインアレルギー： なし あり【 】
- ヨードアレルギー： なし あり【 】
- 牛肉アレルギー： なし あり【 】
- 緑内障の有無： なし あり【 】
- 前立腺肥大の有無： なし あり【 】
- 視聴覚障害の有無： なし あり【 】
- 肢体障害の有無： なし あり【 】
- ブスコパン使用： 可 不可
- ヨード薬剤使用： 可 不可
- トロンビン薬剤使用： 可 不可
- 病理組織検査： して良い しない
- 抗凝固薬などの薬を服用中のため
- その他【 】
- 糖尿病の有無： なし あり【薬剤名】
- 高血圧の有無： なし あり【薬剤名】
- 喘息の有無： なし あり【薬剤名】
- 心疾患の有無： なし あり【病名 薬剤名】
- 他の疾患の有無： なし あり【病名 薬剤名】
- 抗凝固剤または抗血小板薬の服用の有無
- ： なし あり【病名 薬剤名】
- その他の内服薬の有無： なし あり【薬剤名】
- 感染症の有無： なし あり【 】
- HBs抗原 () ・ HCV抗体 () ・ TPHA定性 () 20 年 月 日採血
- その他の伝達事項【 】

上部消化管内視鏡検査 同意書




上部消化管内視鏡検査の問診、説明を行い検査の同意が得られました。

20 年 月 日 説明医師署名 _____

私は、上部消化管内視鏡検査の説明を受け、内容を理解いたしましたので、
みなとみらいメディカルスクエアで検査を受けることに同意します。

20 年 月 日 患者様 署名 _____

胃内視鏡検査を受けられる方へ

項目	前日 (/)	当日検査前 (/)	検査後 (/)
食事 & 水分 	1. 夕食は消化の良いものを夜9時までに済ませて下さい。 2. 夕食後、水・お茶は飲んでいただいて結構です。	1. 昼食はとらず、朝食は食パン1枚、紅茶(ミルク、砂糖なし)程度をおとり下さい。 (空腹時間は6時間必要です) 2. 水分(水・お茶)は少量であれば 検査の2時間前まで飲んで構いません。	1. のどに麻酔がかかっています。誤飲防止の為、検査後1時間は飲んだり、食べたり、上向き「うがい」はできません。 2. 検査後1時間して水・牛乳を飲んでむせなければ消化の良いものをお召し上がりください。(刺激の強いものや炭酸飲料・コーヒーを避けて) *組織を採った場合は、2時間後からとなります*
服薬 	*通常通り内服して下さい。	*循環器系(心筋梗塞・狭心症・不整脈・高血圧)のお薬を処方されている方は、朝は通常通りお昼は12時頃少量の水で内服してください。	*のどの麻酔が切れましたら、通常通りに内服して下さい。
注意事項 	*心配しないで気持ちを楽にお風呂に入って、ゆっくりお休み下さい	*糖尿病で内服やインシュリン治療をされている方は主治医の指示に従ってください。 *時間になりましたら係のものがご案内します。	*のどの麻酔をした場合、違和感が2〜3日続くことがあります。徐々に消失しますが、心配な時はご相談下さい。
《検査について》 *時間になりましたら係の者が内視鏡室へご案内します。 *前処置：食道と胃の粘膜をとる薬を内服し、鼻とどの麻酔をします。 *検査は食道・胃・十二指腸を観察し、必要により胃壁に色をつけたり、組織を採ることがあります。薬品を使用し色つけた場合、便や尿の色が変わりますが心配いりません。 *所要時間は前処置と検査で15〜30分程度です。 みなとみらいメデイカルスケア TEL：045-228-2001			